

発行／坂城町公民館 発行人／塚田 常昭 編集／広報部 印刷所／滝沢印刷（同）  
〒389-0602 長野県埴科郡坂城町大字中之条2468 文化センター内  
TEL.0268-82-2069 FAX.0268-82-8722



## さかきふれあい大学 「坂城の里山に登ろう」 三水城跡から望む景色

### ❖主な内容❖

|                                      |      |
|--------------------------------------|------|
| ふるさと探訪PART111 .....                  | 2～4P |
| 公民館行事から .....                        | 5P   |
| 第65回・第66回坂城町成人式、<br>500字リレートーク ..... | 6～7P |
| お知らせ、館説「開畝」 .....                    | 8P   |

5月23日（日）にさかきふれあい大学「坂城の里山に登ろう」が開催されました。さかき里山トレッキングクラブの講師のもと、参加した皆さんは、里山の自然や歴史に触れ、坂城の魅力を再発見できました。

## ～坂城の山城～

ふるさと探訪 PART108 (『館報 坂城 No.393』掲載) では、葛尾城跡を取り上げました。今回は、町内のその他の山城について、歴史的背景と共にご紹介します。

### 和合城跡

和合城跡は、坂城町と上田市の境にある標高六五四・七mの城ノ山に所在します。虚空蔵山から連なる山城群の突端に位置し、主郭からは他の山城がよく見えます。

築城時期は恐らく戦国時代で、海野氏とのせめぎ合いの中で、本領である坂木(坂城)を防衛するために村上氏が築いたと考えられます。麓に「出



位置図 (「地理院地図」を基に作成)

浦」という小字が残っており、ここに館を構えた村上家臣・出浦対馬守が城主だったという伝承がありますが、定かではありません。

突端部に主郭があり、その周縁部に土塁がよく残っています。虚空蔵山方面に向かって二の郭から四の郭が設けられ、その先に、麓からも見える大堀切があります。この堀切の脇には、南条と上田市

塩尻を結ぶ峠道が通っています。和合城は、遠くまで見通せる見張り台であると共に、峠道の監視所でもあるのです。

崖下の道は千曲川が迫る難所であるため、古来峠道がよく使われました。こうした古道は、虚空蔵山から岩鼻の間だけで四本もあり、大堀切の脇を通る道は「坊主道」と呼ばれていたそうです。虚空蔵山城、鳥小屋城、高ツヤ城、和合城と、この尾根上に山城が密集しているのは、古道の存在が関係していると考えら



村上側から望む和合城跡



和合城跡からの眺め

れています。

武田家臣・駒井高白斎が記した『高白斎記』によると、天文二十二年(一五五三)九月十七日に、敵(上杉兵)が南条に放火しています。武田氏と上杉氏が衝突した第一回川中島の戦いの終盤で、和合城周辺も戦場と化していたことが想像できます。

時代がやや下って天正十一年(一五八三)には、この地は上杉氏と徳川氏の勢力の境目となりました。徳川家臣・真田昌幸が、尼ヶ淵(上田市)に城を築いたため、上杉景勝

が虚空蔵山城に兵を集めています。

翌十二年には、海津城（長野市）にいた上杉家臣・屋代秀正が、徳川氏に内通して海津城を出奔し、本領であつた荒砥城（千曲市）に籠つたあと、虚空蔵山城を占拠し、籠城しました。十三年七月に真田昌幸が上杉氏に帰属し、坂木庄内や屋代秀正の旧領を与えられると、上杉勢に囲まれる形になった秀正は、虚空蔵山城を脱出しています。

ここに出てくる虚空蔵山城とは、虚空蔵山城から和合城までの一帯を指すと考えられています。和合城は境目の城として、戦国末期まで使用されたことがわかります。

### 狐落城跡

網掛の十六夜観月殿から摺鉢山までの尾根筋に、狐落城、三水城、伊勢崎城の三つの山城があります。

狐落城は三水城山の中腹、標高六六五mに主郭を

設けています。この東西の端には土塁が残っています。続く二の郭の北端には石積みが見られます。明治時代に書かれた『長野縣市町村誌』には、「往古英雄割拠の時烽火台なりと言伝ふ」とあり、地元では狼煙台として認識されていたことがわかります。主郭の背後には堀切が鋭く入れられており、尾根からの侵入に備えています。村上氏が本領防衛のために築いた城だと考えられています。



鼠橋運動公園より望む狐落城跡

### 狐落城跡主郭



狐落城では、天文二十二年四月に激しい戦闘がありました。『大須賀文書』の「武田晴信感状」に「狐落、頸参小嶋兵庫助、同小四郎、同与四郎討捕条」とあり、狐落城での戦闘で、小嶋兵庫助ら三人を打ち取った戦功を讃えています。また、『千野文書』には、「あみかけ小屋にて頸壺ツ」と記されています。これは年次不詳の文書ですが、網掛の城で敵兵一人を打ち取っている内容から、同じ戦闘を指していると考えてよいと思います。

『高白斎記』によると、四月二十二日に、八幡峠（千

曲市）で信濃の反武田勢力による反乱が起きています。その数は五千人にものぼり、翌二十三日には葛尾城にいた武田家臣・於皆源八郎が討ち死にするなど、激戦となっています。狐落城での戦闘も、この一連であるとする見方があります。狐落城周辺では、武田方が優勢だったのかもしれませんが。

狐落城は村上氏が坂木を去った後、主や役割を変えながら、天正十二年頃までは使用されたと思われます。

### 三水城跡

狐落城と同じ尾根上、標高七八九・五mの三水城山の頂上に主郭があります。それ以外に目立った郭は見られません。三水城山の頂上は、三方からの尾根の頂点に当たり、主郭の周囲に堀切が入っています。特に、室賀方面の西尾根には連続する六本の堀がみられ、防御の要となっています。ところどころに岩が転がり、一見石垣のようですが、ほ

### 三水城跡主郭からの眺め



とんどは露出した珒岩が砕けたものです。

三水城の名は戦国時代の史料には見られませんが、狐落城跡の項で挙げた「狐落」や「あみかけ小屋」の戦闘が、狐落城のみで展開されたとは考えにくく、三水城も戦場となったことでしょう。『長野縣町村誌』には、狐落城跡と同じように「往古英雄割拠時烽火台となしたりと言伝ふ」と記されています。主郭からの眺望がよく、有事に籠るといふよりは、周辺の山城と連動して機能する城だったのかもしれない。

## 伊勢崎城跡

上田市室賀との境、標高八八〇・八mの摺鉢山山頂に主郭があり、東側に土塁が残っています。室賀方面に二の郭、三の郭とみられる削平地がありますが、大変狭く、土塁はありません。斜面は急峻で、露出した珒岩が石垣の様に見えます。千曲川方面の尾根上には堀切が入り、三水・狐落側からの侵入を困難にしています。宮坂武男氏作成の縄張り図によると、この堀切は室賀峠方面に続く幾筋もの長い堅堀につながっており、



主郭手前の堀切

周辺の山城にはない特色もっています。

築城は、室賀地域を拠点とした室賀氏と考えられますが、『長野縣町村誌』には「甲越闘戦の際武田氏狼煙を揚げし所なり」とあるのみです。『高白斎記』には、天文二十二年四月十八日に「室賀出仕」とあり、葛尾城が自落した後、室賀氏は武田氏に仕えています。川中島の戦いでは、武田の城として使用されたのでしょうか。また、この日付から、先に挙げた狐落城での戦闘では、武田軍が伊勢崎城側から攻撃した可能性が考えられます。

和合城跡の項で挙げた、天正十二、十三年の屋代秀正の動向には、室賀氏も大きく関わっていました。秀正は室賀満正の四男で、屋代政国の養子でした。兄弟であった室賀満俊は、秀正と同調して行動したようです。室賀氏の本拠地にあるこの城も、緊迫した状況であったかもしれません。

## 出浦城跡

出浦城跡は、自在山（岩井堂山）に残る山城で、築城は村上氏、又はその氏族によると考えられます。主郭は標高七九三mの山頂にあり、周囲に土塁が残ります。この土塁は高さが一・四



びんぐし湯さん館周辺から望む出浦城跡

## 出浦城跡主郭



m、天端は一・二・五mあり、村上地区に残る他の山城と比べ、規模が大きいのが特徴です。さらに特筆すべきは、中央部にある二つのくぼみです。このくぼみは内側に石積みが見られ、雨水をためる井戸だと伝わっています。

西へ緩やかに下る尾根上に、郭と堀切を設けています。郭は、棚田状に小さなものが複数みられます。堀切は堅堀につながるものもあり、斜面の横移動を困難にしています。

麓の出浦地区には、「古戦場」「旗塚」などの小字があ

ります。これについて、『長野縣町村誌』には、天正十年（一五八二）の、上杉氏と北条氏の争いにまつわる伝承が記されています。この出浦城も、戦国末期まで手を加えながら使用されたと思われる。

## おわりに

戦国時代、信濃の武士や百姓は、周辺の国々から侵入してくる大名勢力に翻弄されました。大名たちは信濃の武士を取り込み、自らの領国を広げていきました。記録には武将の名前しか見られなくても、その背後には大勢の人々がいます。山城に関する歴史を手繰ると、勢力の境目に生きた、私たちの先祖の姿が想像できます。その誰もが必死で、懸命であったことを、深く切り込まれた堀の跡が物語っているように思います。山城を保存し、後世に伝えていくことは、ふるさとの記憶をつなぐことでもあるのです。（本間美麻）

# さかきふれあい大学講座

## 専門講座 川の学校

6月26日(土)、27日(日)、さかきふれあい大学「川の学校」が開催されました。親子9組が参加し、講師の後藤敏一さん・正一さんのご指導のもと、手作りした仕掛けには、ウナギやニジマスなどがかり、大興奮でした。



地域の自然にふれあいながら、魚の学習や川遊びのマナーなどを学ぶ楽しい二日間でした。

## 教養講座 千曲の谷から不思議な宇宙

坂城町出身で、認定NPO法人「子ども・宇宙・未来の会」理事、宇宙科学研究開発機構(JAXA)名誉教授の平林久さんによるリモートでの講演が8月5日(木)に文化センター大会議室で開催されました。夏休み中の小中学生や保護者が参加し、不思議の多い宇宙が少し身近になった講演会でした。



## 分館役員研修会開催

6月18日(金)分館役員として、地域の特性を活かし、分館相互の情報交換を通して、明るく住みよい地域コミュニティづくりを推進するための分館役員研修会を開催しました。

今年度は、前新地区長の上野敬一さんを講師に「地域の中での外国人のみなさんとの交流」についての講演と「分館活動・施設整備に関わる制度について」の研修を行いました。分館役員50名が参加され、住民の絆を深める取り組みについて、活発な意見交換がされました。

## 納涼音楽会開催

7月3日(土)第43回納涼音楽会を坂城町音楽愛好会と町公民館の共催で、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を十分に講じて開催しました。

村上小学校・南条小学校を含む6団体の参加があり、日頃の練習の成果を発表し合い、大変盛り上がった音楽会となりました。



## リトミック教室

リトミック教室は、音楽やリズム遊びを通じて、子どもの豊かな感性や情緒を育むお手伝いをする楽しい教室です。中沢敏江先生のご指導のもと、元気な声が響いています。7月7日(水)には七夕に合わせて、七夕の飾りつけを行いました。みんなのお願い叶いますように。

10月6日(水)からの後期受講生を募集しています。詳しくは坂城町公民館(82-2069)までお問い合わせください。



※写真撮影時、マスクを外しています

# 新成人おめでとうございます

今年度開催を予定していた第65回坂城町成人式及び第66回坂城町成人式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、大変残念ではありますが、中止といたしました。

式典の中止に伴い、成人者の皆様へ、坂城町長、成人者代表の言葉、恩師のお祝いのメッセージを動画にまとめ、YouTubeで限定配信しました。

成人式該当者は、第65回成人式が平成11年4月2日から平成12年4月1日生で、149名、第66回成人式が平成12年4月2日から平成13年4月1日生で、158名でした。

新成人の皆さんのますますのご活躍とご多幸をお祈りしています。

## 第65回成人式

### 新成人代表の言葉



小林宗一郎

新成人を代表いたしましたし、成人の言葉を述べさせていただきます。

まず、今年の成人式は、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念され、残念ながら中止となりました。これまで、私たちの人生の節目となる式に向け、準備に携わってくださいました方々に心より感謝申し上げます。中学を卒業してから六年が経ち、各々がそれぞれの道に進み、様々な経験をしてきたかと思えます。私は中学卒業後、親元を離れ、寮生活をして野球をしております。

高校生活の三年間が私にとって一番の経験、人生の糧となりました。この三年間では、初めて壁にぶつかり結果が出ない日々が続きました。その時は辛くて、やめたいと思ったこともありました。三年間続ける

ことが出来ました。辛くても頑張れた理由は、年に何回あった地元に戻ることでした。地元に戻れば、中学で仲がよかった友達に会える楽しみがあったので、その日まで頑張ろうという思いでした。本当に元気づけられました。

また、野球以外にも挨拶や礼儀といった社会で役立つことなども学びました。教わった当時は、本当に役に立つのかどうか分かりませんでした。が、今となっては非常に役立つと思っています。

私がこの短いようで長い六年間で感じたことは、仲間の大切さと先人の教えは素直に受け入れる重要性です。言われて役に立つことだけを吸収すれば良いと思えます。言われた時は腑に落ちなかったり反発したい気持ちもあるかと思いますが、自分の本質をついた、ためになる言葉も多いのではないのでしょうか。

また、壁にぶつかり、どうしようもない時は、仲間を頼って下さい。きつと、励ましてくれるはずです。

私たちは十人十色の進路を歩んできた分、私たちの

これからを支える言葉にあふれた宝の山なのかも知れません。

今、世界中では新型コロナウイルスと戦っています。

コロナ禍で私たちの生活は一変しました。学生はオンライン講義になり、今まで体験した事のない日常になつていきます。今までの当たり前前に出来ていたことが出来なくなる不便さを感じ、それまでの日常がとても愛おしく感じています。

月日が経つごとに、不自由な生活が日常になり、その中でも楽しみを見つけられるようになりました。今は、コロナ禍で先の見えない不安に駆られておりますが、きつと明るい未来が待っています。

常に前を向いて、日々成長し、感謝の気持ちを忘れずに頑張っていこうと思います。

社会人としてはまだまだ未熟者ですが、どうかこれからも温かい目で成長していく姿を見守っていただければと思います。

以上をもちまして成人の言葉とさせていただきます。

## 第66回成人式

### 新成人代表の言葉



池田 圭吾

皆様こんにちは。僭越ながら、成人代表のあいさつを務めさせていただきます、池田圭吾です。昨年度、新型コロナウイルスの影響で第六十五回成人式は中止となりました。多くの方が残念に思い、気を落とされたことかと存じます。残念なことではありますが、今年度も新型コロナウイルスの流行が収束せず、同級生の皆様、お世話になった先生方に再会することはできませんでした。しかし、動画を介した形ではありますが、今、成人のお祝いを賜うことができていますのは、成人式のため、ご尽力いただいた皆様、先生方、地域の皆様、ご家族の皆様など多くの方のお力添えのおかげです。心より感謝申し上げます。

私たちは、現在のような

大きな時代の転換点の最中、成人を迎えました。そう

悪いことばかりでもないと存じております。確かに従来のように友人とお酒を飲んだり旅行に行ったりということは難しい状況です。しかし、他者のことをおもんばかる力、制限がある中、新たな楽しみや活躍の場を見つける柔軟な考え方など、この辛い期間を耐えたからこそ身についたこともあるかと存じます。コロナ禍での経験を糧にして、私たちは大きく成長できたと信じております。

さて、成人を迎えた皆様は、かつて小学校や中学校などの組織に属していました。そして現在も会社や学校、家族、地域など何らかの共同体に属しているはずであり、そのことはこれから先も変わらないでしょう。今の年齢で、共同体においてリーダー的役割を務めているという方は、そう多くないと思います。むしろ、若く未熟な私たちは、共同体において弱い立場に立たされることが多いのではないのでしょうか。今日は、若く未熟な私たちだからこそ

果たせる役割があるという話をしようと思います。

「七人の侍」という映画があります。七人の侍が徒党を組んで、野武士の襲撃から農民を守るという話です。この「七人の侍」の集団構成が、長く生き延びる理想の共同体に近いという説があります。まず、リーダーがいて、サブリーダーとイエスマンはリーダーの考えに全面的に賛同します。切り込み隊長にはリーダーのプランを即座に実行する能力があります。トリックスターは、自分の属する共同体と、別の共同体、二つの界限の架け橋となる者です。残りの二人が、共同体が苦しいときにも明るさを保ち、救えるものを救うことができるもの、そして、共同体において教育されるものでもあります。私たちの多くはこの「教育されるもの」に該当すると考えています。「教育されるもの」が果たしている役割は、集団がばらばらにならないための結び目となるということです。同じ共同体に属していても、意見の相違は往々にしてあります。そんなときでも、

共同体で一番弱い立場にあるものを教育して、一人前にするという目標は、構成員全員が共有しています。共同体のうち、未来があるものに自分の歴史や知識、技術を継承し、将来に語り継いでいつてもらうことは、構成員の誰にとっても重要なことだからです。このような理由で、まとまりが生まれるため、弱い立場のものも軸としている共同体は長く残るのです。

つまり、私たちは存在しているだけで集団のパフォーマンスを高める役割を果たしているのです。先輩や上司から教えてもらうばかりで、できることが少ないと引け目を感じる必要はありません。今は若さという特権を生かし、わからないことはどんどん質問して、吸収し、将来に備える時期であります。自分も共同体の成員であると自信を持ち、各々の進路でより一層ご活躍されることを祈っております。

以上をもちまして成人の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

## 500字リレートーク 祭り好きのルーツ

櫻井 貴史

コロナ禍二年目の夏、今年も楽しみにしていた祭囃子は聞こえてきません。私は自分が思っている以上に祭が好きなようです。そのことを自覚したのは大学一年目の夏でした。

私は大学の四年間、よさこいサークルに所属していました。最初は一目ぼれという理由だけで、それまで存在すら知らなかったよさこいを始めたことが不思議でなりませんでした。

そんなことを考えている中、一年目の夏に大きな祭で演舞を披露しました。石川県は金沢市、そのメインストリートで

貸切つての踊り流しです。

その時の光景は今でも鮮明に覚えています。日も完全に沈んだ頃、



チームメイトと自分を照らすスポットライト、通りの両脇を埋める観客とそこから浴びせられる歓声・拍手。異常なまでに楽しいと感じた体験でした。

その年のお盆に帰省した際、家族によさこいについて聞かれました。意外に楽しめていることを伝えると、母が「坂城どんどんで散々踊ってたからそりゃ楽しいでしょ」と一言。この時初めて自分のお祭好きのルーツを認識しました。

そんな私も新社会人。慣れない事だらけではありますが、日々を懸命に過ごしています。祭囃子に身を委ねる、そんな夏が戻ってくることを願って。

次は、西澤優葵さんです。

## さかきふれあい大学教養講座講演会

10月23日(土)に開催を予定していましたが、下記のとおり変更いたします。

**日時** 令和4年2月5日(土)  
午後2:00～3:45

**場所** 文化センター大会議室

**出演** 神田 蘭さん(講談師)

**受講料** 無 料



神田 蘭さん

## ライフステージエコー2022 ジャズコンサート

**日時** 令和4年1月8日(土)  
開場：午後1:30 開演：2:00

**場所** テクノセンター 大研修室

**出演** 大都ジャズオーケストラ(11名編成)

**お問い合わせ** 教育文化課生涯学習係



## 人権を尊重し 豊かな福祉の心を育む町民集会

今年も一人ひとりの人権が尊重され、地域でふれあい、豊かな福祉の心を育むことを目的に開催します。

**日時** 12月4日(土) 午後1:30～3:30

**場所** 文化センター大会議室

**内容** 村上小学校児童による人権作文の発表  
記念講演

**受講料** 無 料

## 今後の行事予定

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、変更となる場合があります。

- ◆町民運動会 10月2日(土) 中止
- ◆青少年健全育成交流会ウォークラリー大会 10月16日(土)
- ◆町文化祭 10月23日(土)、24日(日)
- ◆スポーツ少年団交流大会 12月12日(日)
- ◆元旦マラソン 1月1日(元日・土)
- ◆席書大会書初展 1月4日(火)～6日(木)

- ◆スキー・スノーボード教室 1月16日(日)
- ◆分館対抗球技大会 2月26日(土)
- ◆子ども茶の湯教室 3月5日(土)
- ◆坂城町囲碁大会 3月13日(日)
- ◆坂城町将棋大会 3月20日(日)

## 説 館 開 館 歌

秋になり、もうすぐ菊の花が咲き誇る季節になります。菊は、秋の季語とされるように、秋を代表する花の一つと言われています。朝顔と同じ短日植物で、日が短くなってくる時期に花芽をつけ、1日のうち暗闇が14時間以上にならないと開花しないと考えられています。その性質を利用して、太陽光を遮り開花時期を早めたり、人工的に光を当てて開花時期を遅らせたりすることが出来ます。このように菊の性質をうまく利用して、菊の花を一年中楽しむことができます。

秋の菊は、春の桜と並んで、日本人にとって、特別な存在ではないでしょうか。咲いてすぐに散り落ちる桜の花に対して、菊の花は寒さをものともせず長い間咲き続けます。日本の国花は桜なのか菊なのかを調べてみると、意外にも日本には法定の国花はありません。しかし、皇室の家紋のモチーフとされている菊と国民に広く親しまれている桜が事実上の国花として扱われています。

皇室で菊の紋章を用いたのは、12世紀から13世紀に活躍された後鳥羽上皇が最初と言われています。後鳥羽上皇は、大変菊を好まれ、衣服や調度品に菊の文様を使用し、自らのお印として愛用されました。その後の天皇も、菊の文様を自らのお印として継承されたことにより、菊花紋章(十六八重表菊)が皇室の紋とされるようになりました。菊全般の花言葉が「高貴」「高潔」「高尚」であるのは、皇室の紋に定められていることに由来しています。

また、菊の名前の由来は、「行き詰まる」という意味の「窮まる(きわまる)」を語源としています。菊の花が一年の最後に咲くことから名づけられたとされています。菊を好まれた後鳥羽上皇は、鎌倉幕府の倒幕を目指し承久の乱を起こしました。後鳥羽上皇のその後を考えると、菊の名前の由来はなんと複雑な思いがします。

現在、世界は新型コロナウイルス感染症の拡大という大きな問題に直面しています。ワクチン接種も進んでいます。感染した時の根本的な治療薬はまだ開発されていません。感染への不安は尽きず、まさに行き詰まった「窮まった」状態です。しかし、菊の性質を活用して開花をコントロールしたように、人類は新型コロナウイルス感染症の性質を解明し、やがてコントロールしていくことができるでしょう。まだまだ心穏やかな日々にはなりませんが、きれいな菊の花を眺め、つかの間でも心を和ませたいものです。

(T・T)